



令和4年8月号



気象講演会開催しました

令和4年7月23日、日立市天気相談所開設70周年記念事業「気象講演会」を、日立シビックセンター音楽ホールで開催しました。感染症対策のため、席の間隔を空けての開催となりましたが、募集定員をこえる応募があり、また、多くの来賓の方にも来ていただきました。

NHK水戸放送局の気象キャスターとしておなじみの福嶋アダムさんに「福嶋アダムのお天気放談」と題して、茨城県北や日立市の気象の特徴、テレビの気象コーナーの裏側などをクイズを交えてわかりやすく紹介していただきました。また、後半には、司会をお願いした、東京MXテレビの情報番組で気象キャスターをしている、敷波美保さんにも加わってもらい、福

嶋さん、天気相談所職員の3人で、パネルディスカッションを行いました。テレビ等で伝える仕事をしているお二人に、心がけているところや、楽しかったこと、どうしてこの仕事を始めたか、などを伺いました。あわせて、天気相談所の紹介もしています。

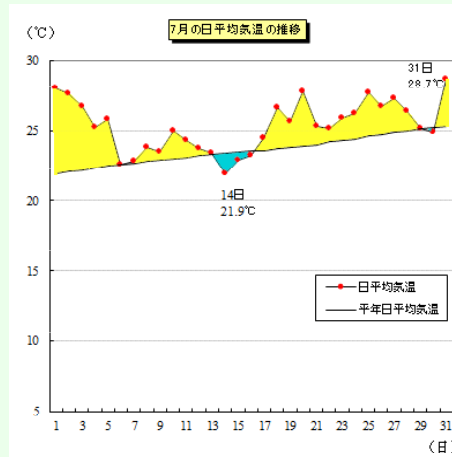
御覧になったかたからも、「楽しかった」「新しい発見があった」「気象予報士を目指そうと思った」など感想をいただきました。

当日お越しいただいたみなさんと、福嶋さん、敷波さん、ありがとうございました。



7月の気候

7月はじめと下旬は太平洋高気圧に覆われたものの、湿った空気が入りやすいため大気の状態も不安定となりました。月平均気温は25.3℃と平年よりかなり高く、20日には猛暑日も観測しました。雨の日が多くなったため、月合計日照時間は131.8時間と平年よりやや少なくなりましたが、降水量は多くなり、91ミリと平年の58%にとどまりました。



1カ月予報(気象庁発表)

8月は、暖かい空気に覆われやすい予想です。平年同様に晴れの日が多いため、月の平均気温は、「平年より高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は「ほぼ平年並み」の見込みです。

天気用語の基礎知識

指定河川洪水予報2

「氾濫注意情報」「氾濫警戒情報」「氾濫危険情報」「氾濫発生情報」の4種類の表題があり、「久慈川氾濫注意情報」のように河川名をつけて発表される。河川の水位の実況や予測により発表され、日立市に關係する所としては、久慈川の榊橋の水位が基準となっている。榊橋に設定されている、水位の基準値を超えたり、超えることが予想される際に発表される。

神峰の山から

気象講演会のパネルディスカッションは、事前に内容を打合せ、台本を作成して行いました。通常ですと、台本を作成する前に参加するお二人と事前に面談して打合せを行います。が、新型コロナウイルス感染症の影響で、今回はメールや電話のみの打合せとなり、当日会場ではじめて揃っての打合せを行いました。やはり、直接お話しできると様々な案が出て、お二人の講座を成功させようというお気持ちもあり、大変盛り上がった打合せになりました。そのため、台本も急遽一部修正して、本番に臨むことになりました。

筆者は緊張のあまり、本番では様々な失敗をしてしまいました。